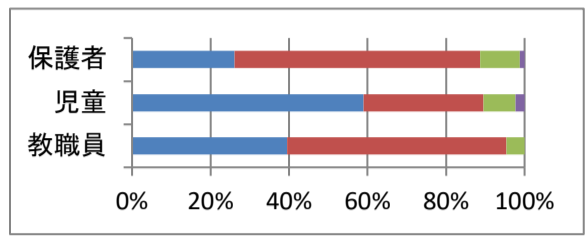
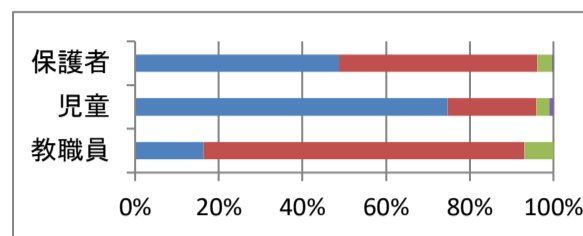
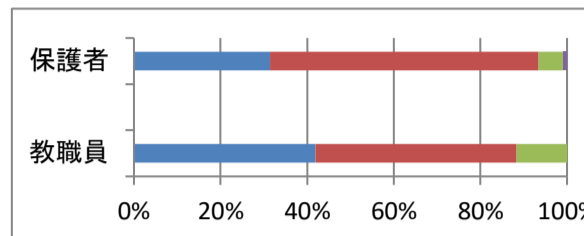


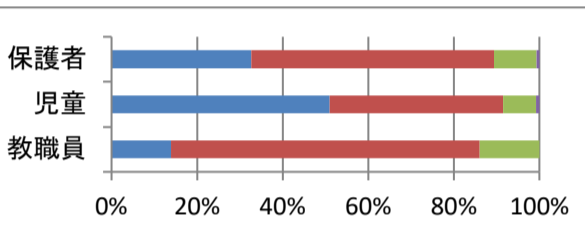
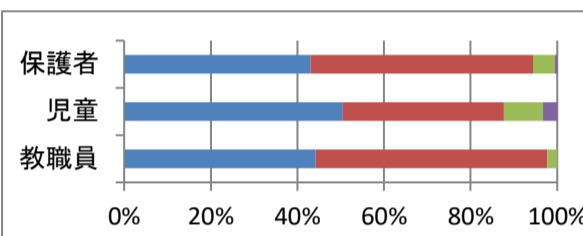
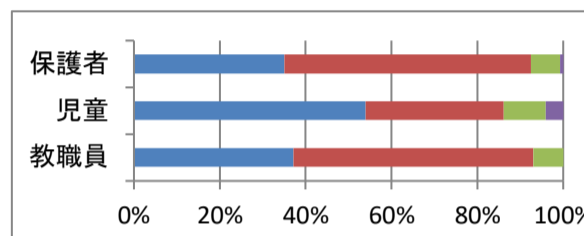
平成30年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ と思う ■ どちらかといえば、と思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<p><b>1 一人一人の児童生徒の尊重</b></p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。</p> 	<p><b>2 友達への思いやり</b></p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> 	<p><b>3 道徳・心の教育の充実</b></p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p> 
<p>【学校から】【1一人一人の児童生徒の尊重】保護者からの「4」「3」の評価が6ポイント増加し、約9割となった。担任を中心として、教職員が児童一人一人に向き合い取り組んできたことが理解されたと考えられる。しかし児童の評価では、「1」の割合も2%いることからより細かい配慮が求められる。【2友達への思いやり】児童、保護者、教師ともに「4」「3」の割合が昨年度とほぼ同じで、93%以上の高い数値となっている。【3道徳・心の教育の充実】保護者の「4」「3」の評価が昨年度よりも6ポイント上がって93%となった。教科化される道徳について充実や啓発を進めた結果であると考えられる。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

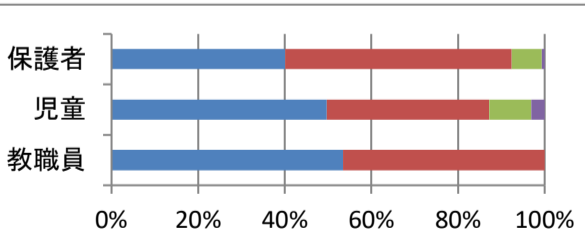
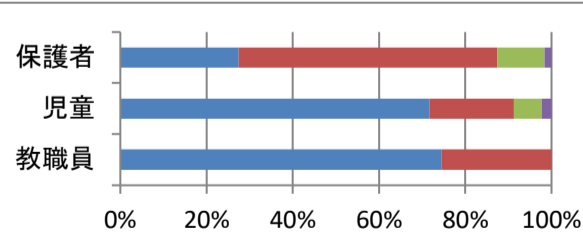
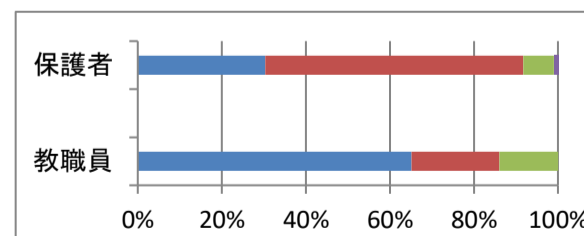
<p><b>4 意欲的な学習態度</b></p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> 	<p><b>5 授業力向上</b></p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> 	<p><b>6 ICT活用</b></p> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p> 
<p>【学校から】【4意欲的な学習態度】児童の「4」「3」の評価が少し上昇し92%だった。【5授業力向上】については、少しポイントが下がった。教師が研修等を充実させ、「わかる・できる」授業づくりを更に進めていかなければならない。【6ICT活用】についても児童の評価が少し落ちた。電子黒板や実物投影機等のICT危機を積極的に活用し、スキル向上と授業の充実を図りたい。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

<p><b>7 健康づくり</b></p> <p>子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>  <p>【学校から】【7健康づくり】児童、保護者ともに昨年度とほぼ同じ評価であった。食については、好き嫌いや偏食の傾向が見られる児童もあり、給食の残菜がなかなか減らない学級もある。また、ゲームやネット視聴の長さから睡眠時間の短い児童もいる。家庭と連携しながら望ましい生活習慣を身につけさせたい。</p>	
---	--

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

②特別支援教育の推進

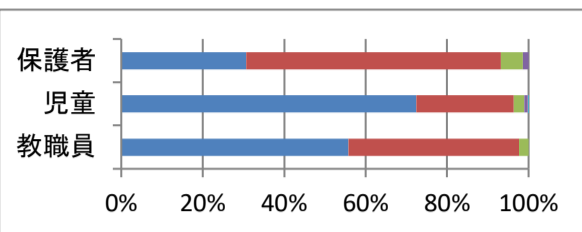
<p><b>8 児童生徒理解</b></p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p> 	<p><b>9 いじめや問題への対応</b></p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> 	<p><b>10 学校の支援体制</b></p> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> 
<p>【学校から】【8児童生徒理解】【9いじめ問題への対応】児童の「3」「4」の割合が4~5ポイント下がる結果となった。しかし、保護者からの評価は6~7ポイント上昇した。教師が児童一人一人をしっかりと見つめ、良さを認めながら自尊感情を高める教育活動やいじめ問題への家庭と連携した迅速な対応を更に進めていかなければならない。【10学校の支援体制】この項目も保護者からの「4」「3」の評価が7ポイント上がっている。今後も特別支援コーディネーターを中心とした校内体制の充実や保護者への啓発も進めていく。</p>		

## ①子どもたちの身近な安全対策の充実

## ②最適な学習環境の整備

### 11 安全と事故防止

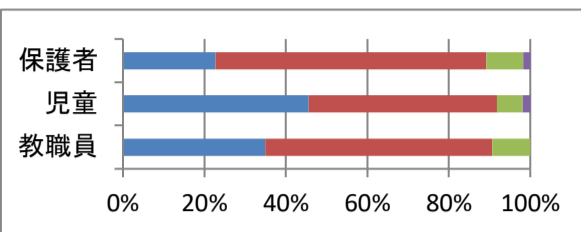
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



【学校から】【11安全と事故防止】児童、保護者ともに評価が上がっている。今後も毎月の安全点検や交通指導、各種避難訓練等に取り組み、あわせて日常のケガや事故等の防止に努めていきたい。

### 12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

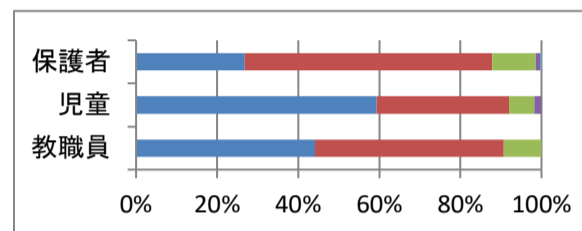


【学校から】【12施設・設備の安全管理】保護者からの評価はほぼ前年度並みであったが、児童からの評価は6ポイント上昇した。施設が古くなってきたなか、修理や補修等に地道に取り組んできた。

## ③家庭・地域社会との連携強化

### 13 教育方針・目標の理解

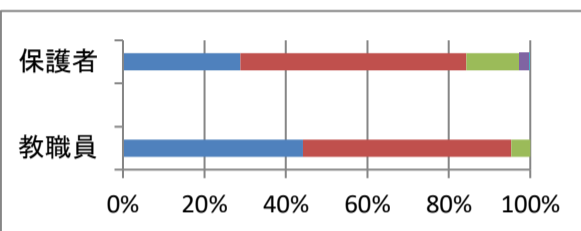
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】【13教育方針・目標の理解】本年度は「3つの『あ』」に取組について、児童には始業式や終業式、全校朝会などで呼びかけ、保護者にはPTA総会や学校だよりなどで広く知らせた。その結果、保護者からの「4」「3」の評価が7ポイント上昇した。また【14家庭や地域との連携協力】の項目でも保護者からの評価が7ポイント上がっている。今後も家庭や地域との連携・協力を進め、家庭・地域とともに歩む学校づくりに取り組んでいく。

### 14 家庭や地域との連携協力

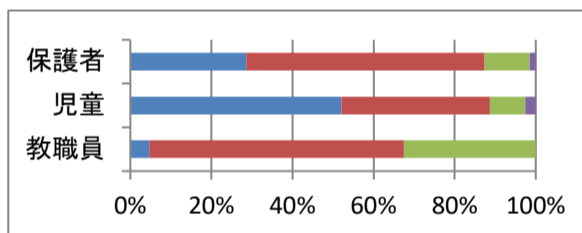
子どもは、元気のよいあいさつをしていると思いますか。



## ⑧本校の教育

### 15 託麻西小3つの「あ」<あいさつ>

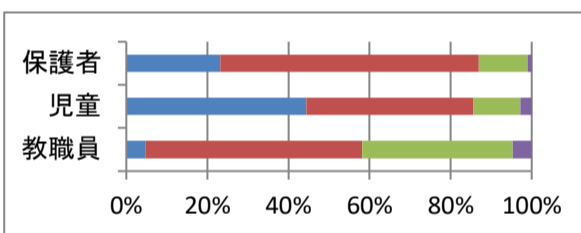
子どもは、元気のよいあいさつをしていると思いますか。



【学校から】「あいさつ」「あいず」「あとしまつ」いずれの項目も「4」「3」の評価が児童・保護者は80%台後半で肯定的に見ているが、教師は58%~67%と評価が低く大きなズレが見られた。気持ちのいいあいさつや返事がどのようなものか具体的なモデルを提示することで児童一人一人が自分のあいさつや返事を振り返り、実践につなげるようにしたい。これからも「凡事徹底」を目指して、繰り返し根気強く指導していきながら定着できるように努めていきたい。

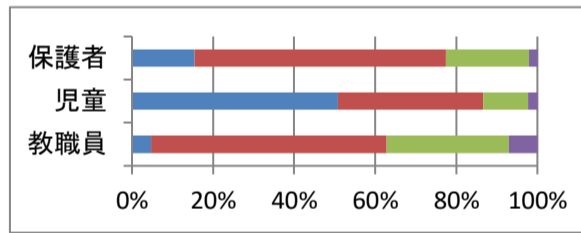
### 16 託麻西小3つの「あ」<あいず>

子どもは、返事がきちんとできていると思いますか。



### 17 託麻西小3つの「あ」<あとしまつ>

子どもは、あとかたづけをしっかりとやっていると思いますか。



## 来年度の具体的な取り組みについて

○「豊かな心を育む教育の推進」においては、友だちや自分以外の人を思いやる心や生命尊重、礼儀等の基本的な事柄について、日常的な指導を通して身につけていきたい。また道徳教育の充実については、教師が研修を深め、授業の質的変換を図り、自分の成長を実感させる道徳の授業を展開していく。さらに、一人一人に目を向けた細やかな指導を心がけると共に、全職員・全保護者が連携を密に取りながら児童を育てていくという意識をより高めていく。

○「確かな学力を育む教育の推進」においては、校内研修のテーマである「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」を実現できるような授業の工夫を行うとともに、全国学習状況調査や熊本市学力調査の結果を詳しく分析し、落ち込んでいる領域の指導を繰り返し行い、定着を図る。また電子黒板や実物投影機等のICT機器が各教室に設置されたので、それらを日々の授業で有効に活用し、児童の学びが活性化できるように支援していく。

○「健やかな体を育む教育の推進」では、体育授業の充実、遊具の整備、各種遊びの紹介、長縄大会・持久走大会、体育委員会によるドッジボール大会などを年間計画に沿って行っていく。そして、学校保健委員会等を通して保護者との連携を図る。

○「いじめ・不登校などに対する相談支援体制の充実」においては、今まで通り、月に一度の「きずなアンケート」実施を継続し、児童の問題に対して早期発見、早期対応をするという強い意識を全職員で共通して持ちながら児童が安心して過ごせる学校づくりに取り組んでいく。また、教職員が児童に関わる時間の確保を行い、信頼関係を築いていく。個別の支援についても、全職員で情報共有をし、特別支援コーディネーターを中心に支援体制のさらなる確立に努める。

○「子どもたちの身近な安全対策の充実」では、引き続き、確実な避難訓練の実施や安全教育の徹底を行う。登下校の安全については、地域の防犯協会・交通安全協会・子ども会（旗振り）・もったいない隊などの力を、児童の健全育成のためにお借りしたい。また、地震等の大規模災害を想定した「保護者への引渡し訓練」や防災頭巾を使った避難訓練等、今年度スムーズに行うことができたので今後も継続していく。

○「家庭・地域社会との連携協力」においては、学校の教育方針や教育目標について、家庭や地域に学校便りや学級懇談会、学校ホームページ等を活用し、分かりやすく発信し丁寧に繰り返し説明していくように努める。また、学校から発信するだけでなく、家庭や地域からの声に真摯に対応し、理解と協力を得ながら取り組みを進めていく。

## 学校関係者評価